

# ＜ SINSE ReVIEW No.1 — 正誤表 Ver.1.1 ＞

位置	誤	修正処置 / 正
p. 6 上 3 行～9 行： <u>テストティーカー</u>	0 字下げテキスト。	→ 頭に「・」が付いた 2 字下げの項目テキスト。下記のように。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ テスタティーカーは、回転式装置であり、起動時のみその 2 枚の円板を手動で回転させた後は、外部からエネルギー的に補給を受けることなく自立的に稼動する。</li> <li>・ 自立的に稼動するのみならず膨大な量の余剰エネルギー(最小でも 3 kw)を生成する！すなわち、その装置 1 台で小さな家 1 軒を賄うに充分足るものである。</li> <li>・ サイズは、巾約 70 cm、奥行約 40 cm、高さ約 60 cm</li> <li>・ 雰囲気中の湿度によって、250 V～320 V の直流電流を供給する。</li> <li>・ この電圧において、最低 10 A の直流パルス電流が供給される。</li> <li>・ テスタティーカーは、空気中に含まれるイオンから大量のエネルギーを収集するエネルギーマシンではあるが、永久運動機関ではない。しかし、そこには一般に普及している発電機のドラック抵抗問題を克服するための技術上の秘密が存在する。これが、メタニータが保有する秘密の一つである。</li> </ul>	
p. 9： <u>テストティーカー</u> “早坂秀雄博士の眼” 欄	抜け字と行長不統一	→ 抜けている下記 2 重下線付文字を挿入。
		この装置は、スイスのフリーエネルギー装置の一つである。すなわち、2 枚の相対する金属円盤を互いに逆方向に回転させることによって、エーテルエネルギーを集積するものである。彼らは稲妻から得られた知識を用いているそうであるから、多分 2 枚の金属円盤間の狭い空間ギャップにおける放電現象を利用しているのではないか。これと類似のフリーエネルギー装置はすでに見られるから、エーテルエネルギー集積には、逆回転する金属円盤とその間の <u>高振動する</u> 高圧放電が重要な役割を持っている。
P21：下 10 行、下 6 行	Pumpinaction	Pumping action
P21：下 4 行	むしろ早急に	かなり早急に
P25：下 4 行	著者がそのウェブ上に掲載済の文献資料・・・	そのウェブ上に掲載されている文献資料・・・
P39：下 6 行	装置を回転させうために	装置を回転させるために
p. 40：上 3 行	ノッティンガム大学の物理学者が、・・・ →	○ノッティンガム大学の物理学者が、・・・
p. 48：上 19 行	項目行挿入 →	<b>空気自動車</b> 未来志向のクリーンエネルギー関連・・・